

♥ L'humanite'

ゆまにて

公益社団法人静岡県理学療法士会NEWS



『環境にこだわる』

公益社団法人 静岡県理学療法士会
予防局長 小島 健



発行

公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 小林 敦郎
事務局長 瀧 和人
事務所 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区
南町10番5号 地建南町ビル1階
TEL:054-266-5674 FAX:054-266-5675

編集

広報局ゆまにて編集部
部長 桑田 幸祐
所在地 〒420-0061 静岡県静岡市葵区新富町5丁目7-6
泰平会 城西クリニック

会員数:3,645名 635施設
東部:1,219名 中部:1,087名 西部:1,338名
その他:1名(東京/区西北部ブロック部 板橋区支部)
勤務先会員:3,447名 自宅会員:198名



環境にこだわる



公益社団法人 静岡県理学療法士会
予防局長 **小島 健**

今年度より理事および予防局長を拝命致しました小島健です。よろしくお願いいたします。私が静岡県理学療法士会の部員として関わり始めたのは2020年のコロナ禍の時でした。理学療法士として予防領域におけるキャリアを築いていきたいと思っていたところ、産業理学療法部門が立ち上がり、勇気を振り絞って飛び込んだことを今でも覚えています。今思えば、その挑戦を可能にしてくれたのは、先輩方のご指導と、一步を踏み出す者に門戸を開いてくれる、恵まれた『環境』でした。これまで、多くのご指導・ご支援を頂き、少しの勇気を出せば、やりたいことにチャレンジできる『環境』の重要性を深く学びました。今度は「予防局長」という立場で、会員・県民の皆様の豊かな暮らしに貢献できる『環境』をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、我が国は今、2040年に向けた人口構造の大きな転換期にあります。少子高齢化と生産年齢人口の減少が進む中、国は「攻めの予防医療」を掲げ、社会保障制度の持続可能性を模索しています。こうした社会背景の中、私たち理学療法士に対する期待もまた、大きく変化しています。理学療法士が関わる保健分野は、発育発達を支える「母子保健」や「学校保健」、働く世代の健康と安全を守る「産業保健」、そして高齢者の自立を支える「地域保健」の4つのフィールドに分けられます。これらは決して別々の活動ではなく、身体機能の専門家である私たちが、積極的に関与し、「健康寿命の延伸」と「ウェルビーイング（豊かな暮らし）」を実現していくこと。これこそが、我々理学療法士に課せられた新たな使命であると考えます。

社会からの期待に応え、理学療法士として職域を拡大していくためには、会員の皆様一人ひとりの「挑戦」が不可欠です。そして、その挑戦を可能にするのが『環境』です。私自身の経験からも、少しの勇気を出せば、やりたいことにチャレンジできる『環境』こそが、個人の成長（自己実現）を加速させることを痛感しています。臨床で培った専門性を携え、ぜひ「予防」という新たなステージへ一歩踏み出してみませんか。会員の皆様の積極的な参画とご協力こそが、静岡の未来を築く力となります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰

公益社団法人日本理学療法士協会の創立60周年を記念して、「厚生労働大臣表彰」が贈られました。

この賞は、長年にわたり理学療法を通じて、日本におけるリハビリテーション医療向上に貢献し、保健医療行政への協力や業界の指導育成等、斯界の発展に多大なる功績のあった方に贈られる栄誉ある賞です。



共立蒲原総合病院

和泉 謙二 氏



伊豆赤十字病院

井上 義文 氏



外部理事(愛知県理学療法士会)
蒲郡市民病院

星野 茂 氏

おめでとうございます

公益社団法人 日本理学療法士協会 創立60周年記念式典・祝賀会 ～表彰式の様子～

令和7年10月10日(金)

日本理学療法士協会「創立60周年記念式典・祝賀会」にて、厳粛かつ和やかな雰囲気の中、「厚生労働大臣表彰」表彰式が執り行われました。



第29回

in 沼津

静岡県理学療法学術大会



つながる
TSU-NA-GA-RU

2026年6月14日 (日) 1日開催

会場：ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ
〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4

副大会長挨拶



「Ready and Steady」

この度、第29回静岡県理学療法学術大会の副大会長を務めております、富士リハビリテーション大学校の赤岩龍士と申します。

今夏は記録的な猛暑となりましたが、10月も半ばを迎え、ようやく季節の移り変わりを感じるようになりました。

第29回学術大会は、千葉大会長の想いでもある「つながる」をテーマに、準備委員一同、着実に準備を進めております。開設当初から、千葉大会長と岩崎準備委員長の温かいお人柄もあって、会議はいつも和やかな雰囲気包まれ、まるで家族のようなつながりを感じています。そのような中、準備委員の方々から新しい家族が増えるという嬉しい報告も続き、まさに“福来（29）学会”だと感じております。

患者さんや利用者さんとのつながり、先輩後輩とのつながり、そして同じ志をもつ仲間とのつながり。そのひとつひとつが、私たち理学療法士としての原点であり、成長の源だと感じています。

今回の学術大会が、あらためて人と人との絆を感じ、互いの実践を高め合う場となることを心より願っております。本大会が、参加された皆さまにとって新たな出会いや学びのきっかけとなり、「つながる」ことで生まれる喜びと可能性を実感できる時間となりますことを願っております。



赤岩 龍士

富士リハビリテーション大学校

学会HP



FOLLOW ME



最新情報はこちら



SNSも要チェック！！

特集

公益社団法人 静岡県理学療法士会
第29回静岡県理学療法学術大会

演題・座長・査読者募集のお礼



沢山のご応募ありがとうございました！！

準備委員一同、充実した学術大会になるよう精一杯準備を進めて参ります
皆様と会場でお会いできるのを、楽しみにしております！



大会企画紹介

NEW!

- 大会長講演 ●シンポジウム ●大会基調講演 ●対談講演
- 教育講演 ●公開講座 ●専門部会セミナー
- 演題発表(一般・フレッシュマンズ)

●交流発表会 ←初開催！！



静岡をそんな場所にしていきたいという思いの企画です



応募締切

2026年4月30日(木)

詳細は以下2次元コードへ

<https://shizuoka-pt.com/spta-congress29/meetup/>

※応募多数の場合は先着順となります。ご了承下さい



ポスター作成例も
サイトに掲載中



Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権2025

サーブルランキングマッチ&沼津北ロータリークラブカップ

活動報告

山下 浩史1) 2) 小宮山 正広2) 河野 隆志2) 秋山 大地1) 2)

1) JA静岡厚生連遠州病院 2) 予防局メディカルサポート部

【事業概要】

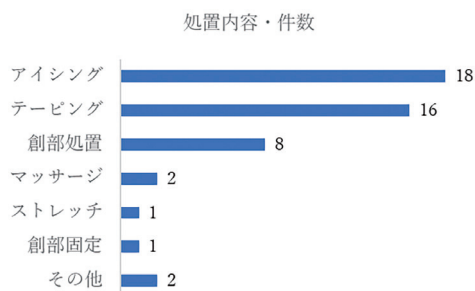
令和7年11月8日(土)から9日(日)の2日間、沼津市総合体育館(香陵アリーナ)にて、一般社団法人 沼津フェンシング協会主催の「Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権2025サーブルランキングマッチ&沼津北ロータリークラブカップ」が開催されました。フェンシングは、使用する剣や有効面(得点となる攻撃範囲)、得点ルールによって「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3種目に大別されますが、今大会は有効面積が両腕と頭部を含む上半身であり、剣が最も小型で、「斬り」と「突き」の2種類の攻撃パターンがあるサーブルの大会でした。当日は、ジュニアからシニアまで350名以上が参加し、静岡県理学療法士会では、2日間で4名のスタッフが参加しました。

【活動内容】

メディカルサポート活動は、主に会場内に設けられた救護エリアで実施し、試合中にも審判や関係者からの要請に応じて選手の応急処置を行いました。試合中の処置対応はインジュアリータイム(5分以内)として定められており、緊張感のある場面でしたが、選手とコミュニケーションを図りながら対応することを心掛けました。今回の経験を今後の活動に活かし、選手の傷害予防やパフォーマンス向上に少しでも貢献していきたいと考えます。

【対応件数】

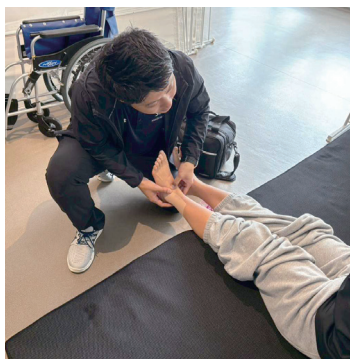
延べ48件(11月8日:22件、11月9日:26件)



試合中の様子



処置対応の様子



最後に、今回の事業に携わる貴重な機会をご提供いただきました公益社団法人 静岡県理学療法士会、並びにご尽力いただきました一般社団法人 沼津フェンシング協会および大会運営関係者の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

産業理学療法部門

「第1回静岡Safe協議会」

活動報告

小島健1)2) 鳥居勇樹2) 岩崎宣人2) 小林敦郎2)

1)十全記念病院 2)予防局健康増進部

予防局健康増進部産業理学療法部門では、静岡労働局から依頼を受けて、近年労働災害の増加が課題となっている小売業および介護施設を対象に、令和7年9月16日(火)～9月17日(水)に開催された「第1回静岡Safe協議会」で、労働安全衛生に関する講演会(腰痛・転倒予防)を実施しました。

静岡県内における労働災害発生状況(静岡労働局「労働行政の現況」)を見ると、令和6年8月時点で、小売業では「転倒」「動作の反動・無理な動作(腰痛)」が災害原因の40%、介護施設で67%であり、労働者の高齢化に伴いその対策は急務となっています。今回の講演では、介護施設と小売業の従事者を対象に、理学療法士の視点から転倒や腰痛予防に関する講義を行いました。事後アンケートでは、参加者から「職場で誰でも簡単に実践できる運動指導」や「動画コンテンツの提供」を求める声が数多く寄せられました。これは、単なる知識の習得だけでなく、現場での具体的な『行動変容』に直結する実践的な支援に対して、非常に高い期待が寄せられていることを示しています。一方で、理学療法士の認知度には業種間で大きな差が見られ、介護施設では関与自体が知られていたものの、小売業では「関与していること自体を知らなかった」という回答が最多となり、この分野における理学療法士の認知度拡大の必要性が浮き彫りとなりました。

「第14次労働災害防止計画」においても、転倒・腰痛予防に理学療法士等を活用することが明記されるなど、産業保健分野における我々の専門性に対する期待は高まっています。また、日本理学療法士協会でも、2026年度より「産業保健・人間工学推進メンバー/リーダー」の認定制度を開始し、組織的な人材育成を進める方針が決定しております。今回の講演で得られた「短時間プログラム」や「高齢者対策」といった現場のニーズに応えることは、安全衛生だけでなく企業の生産性向上という「投資」にも直結します。今後も、産業理学療法を通じて、地域や社会に貢献できる活動を展開して参ります。また、健康増進部では、地元企業を対象とした健康セミナーの開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、下記の方法でご連絡をいただけますと幸いです。

会場の様子



健康増進部では、地元企業を対象とした健康セミナーの開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、二次元コードよりご登録お願いいたします。



当日使用した資料やSafe協議会の様子などを、静岡労働局様のHPに掲載していただきました。是非ご覧になってみてください。

(小売業)



(介護施設)



産後理学療法部門

「骨盤底の理学療法」研修会

活動報告

森梢 1) 2) 菊地麻友美 2) 山本智子 2) 小島健 2)

1) 専門学校富士リハビリテーション大学校 2) 予防局健康増進部

予防局健康増進部産後理学療法部門では、2025年11月8日土曜日に「骨盤底の理学療法」研修会を開催いたしましたので、ご報告いたします。

当部門では、「産後の骨盤ケア教室」(2015年度～)や、富士宮市における「骨盤底トレーニング教室」(2022年度～)を継続しながら、県民の健康づくりとウィメンズヘルス理学療法の普及に努めてまいりました。近年は「産後」だけでなく、女性のライフステージ全体を通じた骨盤底機能の課題に着目し、昨年度から研修会の内容も段階的に拡充しています。今年度はその流れをさらに発展させ、「骨盤底の理学療法」をより体系的に学べる構成としました。

当日は17名の方にご参加いただき、少人数による学び合いの場として実技・講義ともに密度の高い研修会となりました。

第1部では、骨盤底の機能解剖と妊娠・出産に伴う身体の変化を整理し、第2部では骨盤底筋の評価方法や触診を中心に、症例検討も取り入れながら実践的な内容を展開しました。研修中は活発な質疑や意見交換が続き、参加者間で知識と経験を共有する姿が多く見られました。終了後にもご質問を多数いただき、ウィメンズヘルス理学療法への関心の高まりを改めて感じる機会となりました。

私たちスタッフにとっても、研修会の企画・運営を通じて日々の活動を振り返り、ウィメンズヘルス理学療法に対する理解を深める貴重な時間となりました。このような機会をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

今後も県民向けの取り組みを継続しながら、専門職として適切な情報提供と啓発活動を進めてまいります。次年度も、本分野に関心をお持ちの会員の皆さまに参加していただける研修会の充実を図ってまいりますので、健康増進部の活動へのご参加・ご協力を賜いましたら幸いです。

最後になりましたが、研修会の開催にあたりご支援いただきました関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

会場の様子



健康増進部では、地元企業を対象とした健康セミナーの開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、下記①または②の方法でご連絡をいただけますと幸いです。

①「メールでご連絡」・・・kenkou@shizuoka-pt.com(産業理学療法部門 担当者)

②「右記QRコードよりご登録」・・・下記ご登録フォームよりお願いいたします。



産業理学療法部門

志太消防本部「企業向け健康セミナー」

鳥居勇樹¹⁾ 2) 浦田真裕²⁾ 菊池宗伸²⁾ 太田和希²⁾ 小島健²⁾

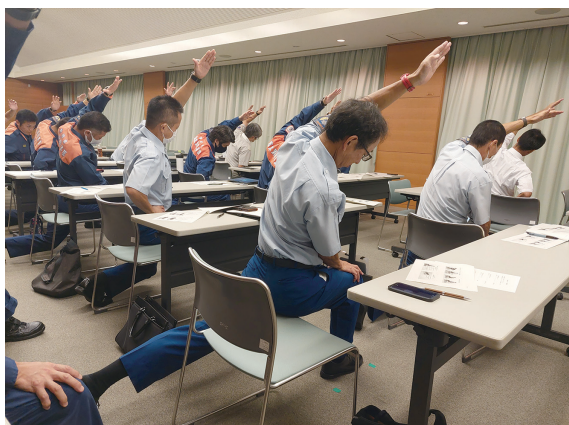
1) 聖稜リハビリテーション病院 2) 予防局健康増進部

予防局健康増進部産業理学療法部門では、昨年に引き続き志太消防本部様から依頼を受け、令和7年9月11日木曜日、9月18日木曜日に焼津市防災センターにて「企業向け健康セミナー」を実施しました。

セミナーは先方より要望をいただき40歳未満の職員、40歳以上の職員を対象に分けて開催されました。40歳未満の職員は12名、40歳以上の職員は29名参加され、両日ともに5分署へ同時中継されました。事前アンケートをもとに、40歳未満の職員を対象にしたセミナーでは「傷害予防、腰痛予防、デスクワークの注意点」40歳以上の職員を対象としたセミナーでは「持ち上げ動作における腰痛予防、肩こり予防」をテーマとして行いました。参加者の年代を分けたことで、各セミナーで参加者の問題点が異なり、参加者が気になること、問題となっていることに具体的な内容を提供することができました。実技の際には、「肩回りが楽になった気がする。」や「伸びているのを実感できる。」など参加者からは運動指導の効果を実感できている様子でした。事後アンケートでは「聞きたい内容を聞けて良かった。」「健康な身体を維持する意識を持つ良いきっかけとなった。」「生活の中に取り入れていきたい。」などと、高い満足度、行動変容を期待できる声が得られました。

昨今、産業保健分野における理学療法士の活用ニーズの高まりを感じており、理学療法士が産業保健分野に関わることで、地域や社会に貢献できる可能性が広がって参りました。今後も理学療法士の専門知識を活かし、地域住民、県内企業への健康増進に努めて参ります。

会場の様子



健康増進部では、地元企業を対象とした健康セミナーの開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、二次元コードよりご登録をお願いいたします。



1) 富士整形外科病院 2) 予防局メディカルサポート部

静岡ボッチャ協会主催の「第4回BOCCIAしずおかCUP」が令和7年10月11日(土)に、このはなアリーナにて開催されました。今大会には幅広い世代の方々が参加されており、年齢、性別に関係なく挑戦し競い合うことができるボッチャの魅力を実感する機会となりました。県士会からは5名のスタッフが参加し、会場内に設けられたメディカルサポートのブースを延べ10名の方に利用していただきました。処置内容はコンディショニング(リラクゼーション、ストレッチング、スローフォームチェック、姿勢修正、腰部や肩周囲の評価等を含む)計10件でした。今回は個人戦がメインであり、試合数および参加人数が少なかったため、昨年度と比較して処置件数は減少しました。しかし、選手のご家族や運営スタッフの方にも利用していただき、理学療法士の役割を実感しながら活動することができました。

今回、ポッチャのメディカルサポートに初めて参加し、貴重な経験をさせていただきました。試合を拝見し、障害の有無に関わらず多くの方が競技を楽しんでいる姿を見て、私自身も体験したいと感じました。理学療法士としては選手の試合前後のコンディショニングを通じ、パフォーマンス向上に繋がるように関わらせていただきました。実際に選手との会話から競技に対する熱意や考え方を聞くこともできました。また機会があれば参加をしたいです。

(医療法人社団英志会 富士整形外科病院 鈴木浩輝)

ポッチャのメディカルサポートに初めて参加させていただきました。ポッチャは体験したことがありましたが、実際の試合を見るのは初めてでした。様々なカテゴリーで白熱した試合が展開されており、改めて魅力的なスポーツだと感じました。ケアを担当させていただいたのは脊髄損傷や脳性麻痺の方で、各々の既往歴をベースに競技特有の課題を抱えており、対応に難しさを感じる場面もありました。今後もこのような機会があれば参加していきたいです。

(医療法人社団英志会 富士整形外科病院 米田賢史)

会場の様子



「第22回DREAM CUP(ドリームカップ)」

下田 健一朗1)2) 大庭 弓子2)

1) 静岡東都医療専門学校 2) 予防局メディカルサポート部

【大会概要】

中部東海身体障害者野球連盟 静岡支部主催の「第22回DREAM CUP(ドリームカップ)」が令和7年11月8日(土)、9日(日)の2日間で開催を予定していましたが、9日は雨天にて初日のみの開催となりました。本大会は、身体障害者野球を通じたスポーツの普及、各地域(中部東海地区、関東地区)との交流、および静岡県と裾野市からの情報発信を目的に開催され、約55名の選手と関係者が参加しました。

【活動内容】

本大会では、メディカルサポートブースを設置(テント・ベット2台)し、試合中の転倒や接触プレー等による外傷に対する応急処置や選手の相談等を中心に活動しました。例年7月下旬の開催時は熱中症への警戒が非常に高い状態でしたが、開催時期が11月へ変更されたため、そのリスクは軽減されました。また、コロナ禍以降、本大会では1日完結型での開催となりました。今大会の参加チーム数は、昨年に比べ減少しました(昨年:8チーム→今年:障がい者チーム4、健常チーム1)。また、2日目が雨天で中止になったことも影響し、メディカルサポートの利用者数・処置件数は、2022年利用者10名(処置件数15件)、2023年利用者数14名(処置件数25件)、2024年利用者数21名(処置件数27件)2025年(本大会)利用者数5名(処置件数5件)と非常に少ない結果となりました。

【処置件数・内容】

処置件数5件、利用者数5名

処置のタイミング:試合後、内容:ストレッチング・徒手療法 5件

【今後の展望】

今大会におけるメディカルサポートスタッフの募集には多くの参加申し込みがあり、パラスポーツのメディカルサポート未経験者の応募も見られ、関心の高さがうかがえました。次年度以降もパラスポーツ部門の事業があるため、引き続き情報発信に努め、パラスポーツに携わる理学療法士の人財育成・体制構築を図り、さらなる部門の発展に努めていきたいと考えています。

会場の様子



【謝辞】

最後に、今回の事業に携わる機会を与えていただきました静岡県理学療法士会、開催にあたりご尽力いただきました中部東海身体障害者野球連盟の皆様方に、厚く御礼申し上げます。



サッカー部門活動報告

第78回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会

松浦 大翔1)2) 小田心太郎2)

1)掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター 2)予防局メディカルサポート部

令和7年9月14日(日)から10月4日(土)にかけて、県内4球場にて「第78回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会」が開催されました。私たちメディカルサポート部は1回戦から決勝まで全ての試合にメディカルサポートスタッフを配置し、サポート活動を実施しました。

本サポート活動の実施にあたり私たちは、サポート活動やワークショップを通じ、意見交換を重ね、知識と技術の向上に努めてまいりました。ワークショップでは有意義なディスカッションを行うことができ、大会中のアクシデントに落ち着いて対応することができました。

参加スタッフ数:28名
総処置件数:64件

投手クーリングダウン	32件
テーピング	16件
アイシング	6件
創部処置	1件
ストレッチ	4件
水分補給	4件
その他	1件

今大会は、1・2年生による新チームでの大会であり、来年春に行われる「選抜高等学校野球大会」へつなげる重要な大会です。夏の「全国高等学校野球選手権大会」にも勝るとも劣らない高校球児たちの熱量や気迫を感じました。その中で試合中のアクシデント対応や投手のクーリングダウンなどを実施し、未来ある高校球児をより良い状態で試合へ送り出す手助けをできた喜びを感じています。

今後のメディカルサポート活動においても、より良いサポートができるよう日々研鑽していきたいと思います。

会場の様子



最後に本大会の開催にあたりご尽力いただいた一般財団法人静岡県静岡県高等学校野球連盟並びに大会関係者、静岡県理学療法士会の皆様に厚く御礼申し上げます。



第20回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

磐田市立総合病院 寺田僚介

【はじめに】

この度、公益財団法人国際医療技術財団(JIMTEF)主催の災害医療研修アドバンスコースに参加する機会をいただきました。大規模災害発生時の初動対応から本部運営に至るまで、実践的な演習を通じて学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。以下に、内容と所感を報告いたします。

【研修内容】

●**演習1 発災から急性期の対応**… 大規模災害発生直後に、どのように行動し被災地へ向かうかについて検討する演習でした。自職種として派遣される枠組みはあらかじめ決まっておりますが、今回は多様な職種が混ざったグループでのワークであったため、所属や職種によって優先する視点や判断が大きく異なることを体感しました。同じ「支援」という目的であっても、求められる装備、移動手段、到着後の行動が職種によって大きく異なることを理解し、多様な視点を知る貴重な機会となりました。

●**演習2 避難所運営ゲーム(HUG)・・・** 次々と避難者やイベントカードが提示され、混乱した状況の中で避難所を運営していく演習でした。短時間に膨大な情報と対応が求められる中で、初期配置や本部の設定など最初の準備がいかに重要であるかを実感するとともに、忙しい状況下では対応が表面的になりやすいことも痛感しました。特に、避難者への返答が雑になってしまう場面が見られ、発災直後の混乱の中こそ落ち着いて丁寧に対応する意識が重要であると気づきました。また、立場の異なるメンバーと協力することで、多職種連携における難しさと可能性を同時に理解することができ、避難所運営の複雑さと実践的な判断力の必要性を強く学ぶ演習でした。

●**演習3 避難所・地域アセスメント・・・** 他グループが作成した仮想避難所を、ラピッドアセスメントシートを用いて評価する実習でした。避難所責任者が疲労やストレスを抱えているという設定のもとで話を聞く必要があり、相手の負担を最小限にしながら必要な情報を短時間で収集することの難しさを改めて実感しました。実際の被災地と同様、正確性に固執するよりも、重複を避けつつ迅速に情報を整理することが重要であり、住民のニーズを捉えるためには丁寧なコミュニケーションが欠かせないと再認識しました。また、自身が能登で支援に入った際の体験とも重なる部分が多く、当時の避難所対応を振り返る良い機会となりました。

●**演習4 災害食の実際・・・** 限られた物資と衛生環境の中で安全に食事を提供する難しさを体験する演習でした。災害時には平時のような食材の選択が難しく、アレルギーや咀嚼機能など個性性を考慮するとさらに提供可能なメニューが限られる一方で、白米に野菜ジュースを加えてチキンライス風に調理するなど、工夫次第で衛生面に配慮しながら多様なアレンジが可能であることも理解できました。食事提供の重要性和工夫の幅を学ぶ貴重な機会となりました。

●**演習5 本部運営実習**・・・災害医療コーディネータとして本部運営を行う設定で、刻々と変化する状況の中、情報収集から整理、そして適切な部署への伝達までの流れをグループで体験しました。膨大な情報が同時多発的に入ってくる中で、どの情報を深掘りし、どの情報を保留すべきか判断する難しさを感じるとともに、俯瞰的な視点と現場に寄り添う視点の双方を行き来しながら意思決定する必要性を強く認識しました。また、支援団体ごとの能力や役割を理解していなければ、適切な調整や指示ができないことも実感し、本部運営におけるロジスティクスの重要性を再確認しました。

【感想】

全体を通じて、多職種が連携して支援に当たる災害現場では、限られた時間と情報の中で最も妥当な判断を行うことの難しさと、その重要性を強く感じました。特に演習2・3・5では、多様なニーズを抱えた住民に対して丁寧に向き合う姿勢や、情報を整理して優先順位をつける力が求められることを実感しました。自身が能登半島地震で経験した支援と照らし合わせながら学ぶことで、実践につながるより深い理解が得られた研修であったと感じています。

演習の様子



【おわりに】

静岡県でも大規模災害の発生が懸念される中、今回の研修で得られた知識と経験を自施設および地域全体の災害対応力向上に役立てていきたいと考えております。引き続き、災害に備えた学習と準備を継続し、地域に貢献できるよう努めてまいります。このような貴重な機会を提供していただきました静岡県理学療法士会ならびにJIMTEF関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



神経系理学療法専門部会

令和7年度 神経系理学療法専門部会 第2回症例検討会

開催報告

山内信吾1) 藤井星矢1)

1) 静岡県理学療法士会 神経系理学療法専門部会

令和7年11月13日(木)に、オンライン(Zoom Meetings)で神経系理学療法の分野における症例検討会を行いました。

症例検討①では、「重度の失語症がある患者に対して効果的・反応の良いリハビリ内容、関わり方の検討」、症例検討②では、「左アテローム脳梗塞により左片麻痺を呈した症例 ～歩行の主訴・ボディイメージに着目した介入～」というタイトルで、それぞれ症例紹介をしていただきました。症例発表後に質疑応答、グループディスカッションを行いました。

グループディスカッションを通して、症例検討①では、参加者からも、経験から得られた関わり方や、環境設定(物や環境がどのような行動を誘発するか)、治療アイデアなどの話を聞くことができました。症例②では、フィードバック方法や効果検証の方法、難易度の調整方法などの意見が挙がりました。

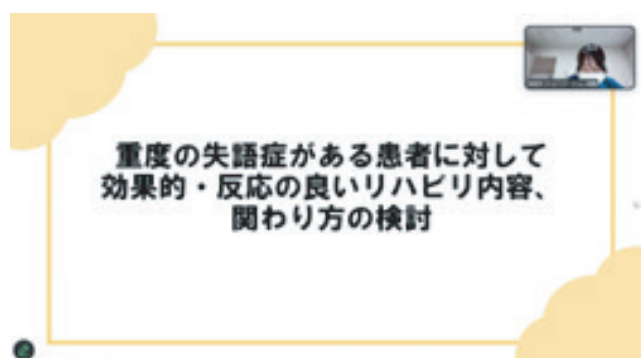
参加者のアウトプットによって、発表者だけではなく、他の参加者やアウトプットした参加者自身にも気づきがあったのではないかと思います。その場に参加していた方にとって有意義な時間であったと思います。

今後も県内理学療法士のリハビリテーションの質の向上をサポートできるような場を設けていければと思っています。

【参加者】

理学療法士会員：21名(症例検討①)、21名(症例検討②)

【症例検討】



症例検討① 村上 由真 先生
(浜松市リハビリテーション病院)



症例検討② 高木 嘉希 先生
(沼津リハビリテーション病院)

令和7年度 公開講座(富士宮市)

社会局長 河野 隆志
公開講座部長 大嶽 達也

令和7年11月2日(日)に富士宮市で公開講座を開催しましたので報告いたします。

- 日 時: 令和7年11月2日(日) 10:00 ~ 12:00
- 会 場: 富士宮市富丘交流センター 集会室
- 来場者数: 48名
- 講師①: 庄司 陽介(富士宮市立病院)
 - フレイルを予防しよう! ~予防方法を理学療法士がお伝えします~(講演)
- 講師②: 渡邊 聖斗(富士整形外科病院)
 - フレイル予防に関する運動(運動実演)

『フレイルを予防しよう!』をテーマに富士宮市で公開講座を開催しました。当日は48名の来場者にご参加いただきました。来場者の満足度は非常に高く、盛況のうちに終えることができました。当日ご協力いただきました運営スタッフの皆さま、広報活動を中心にご協力をいただきました富士宮市 健康増進課の皆さまに深謝いたします。今年度の公開講座は全て終了いたしました。引き続き、県民の皆さまの介護予防・健康増進に貢献できるよう努めて参ります。

講演の様子



運動実演の様子



運動の様子



運営スタッフ



若手
セラピスト
大歓迎



脳卒中患者の病態、リスク
管理、脳画像など基礎から
学ぶことができます！

公益社団法人 静岡県理学療法士会主催

神経システムを考慮した 脳卒中患者のリハビリ戦略

登録/認定/専門PT更新ポイント・点
区分5-64「歩行・歩行障害」 2.0ポイント/点

12/23 火

時間

18:30~20:50

開催方法

オンライン開催
(ZOOM)

定員

90名

講師

戸田中央メディカルケアグループ
医療法人社団伊豆七海会
熱海所記念病院
脳卒中認定理学療法士
宮上純貴



研修会の内容

脳卒中患者のリハビリを考える上で、神経システムの理解は重要と考えています。しかし、神経システムは複雑が故に苦手意識を持っている方も多いのではないのでしょうか？本講義では正常運動の神経メカニズムならびに脳卒中患者の障害像を理解し、症例を通して、脳画像の解釈やリハビリテーションプログラムの紹介を行い、効果的なリハビリテーションを考える一助となるような研修会としたいと考えています。

申込期間

2025年10月20日(月)~12月19日(金)

参加費

県士会会員 ¥800 他県士会会員 ¥1,200
他職種・一般 ¥1,200 PT協会会員外 ¥1,600

申込方法

【会員の方】

日本理学療法士協会のHP内マイページよりお申込みください。

研修会コードID : 151222

【他職種・一般・PT協会会員外の方】

右二次元コードよりお申し込みください。
参加費をお振込みにてお支払いいただきます。
手数料は自己負担となります。

お振込みのご案内はメールにてお送り致します。



《お問い合わせ先》

・会員の方 : j_miyakami@tmg.or.jp(担当 : 宮上)

・他職種・一般・PT協会会員外の方 : 公益社団法人 静岡県理学療法士会 営業時間 : 平日(月~金) 10:00~17:30
TEL : 054-266-5674 e-mail : office@shizuoka-pt.com

公益社団法人 静岡県理学療法士会 主催

神経系専門部会 研修会



あなたのそのアプローチは「治療」ですか？
歩行再建のための基礎を再確認！

2026年1月10日(土) 9:00~12:10

会場：富士リハビリテーション大学校（静岡県富士市伝法2527-1）

9:00~10:00 「序論・歩行分析（健常・片麻痺）」

10:00~10:50 「片麻痺歩行の特徴と治療介入」

11:00~12:10 「下肢装具の活用と筋電図評価」

『臨床場面に活かす，脳卒中片麻痺者の歩行分析と
装具療法について』

健常歩行から片麻痺歩行まで，動作解析装置から得られたデータを使用しながら
分かりやすく解説します。下肢装具や筋電図の実技講習も！

講師： 小林 庸亮（農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター）

認定理学療法士（脳卒中・補装具）/修士（保健医療学）/義肢装具認定士

【対象】 どなたでも参加可能（定員：40名）

【参加費】 会員1200円

県外会員・一般1800円 非会員PT2400円

【※ 切】 令和7年12月30日迄

【履 修】 カリキュラムコード区分

区分4-51 活動体としての人間理解：関節運動

登録/認定・専門理学療法士更新 3ポイント/3点

【お問合せ】

会員の方：yo-kobayashi@janrc.or.jp（担当：小林）

一般の方：公益社団法人 静岡県理学療法士会

TEL：054-266-5674 e-mail：office@shizuoka-pt.com

営業時間：平日(月～金) 10:00～17:30

会員の申し込みは
マイページから
セミナー番号151223

一般・非会員の方
専用申し込み↓





「健康増進部(産後/産業)事業への参画実態」 に関するアンケート調査 ～ ご協力をお願い ～

3分で完了！ 皆さまの声で、参画の「壁」をなくしたい

この度、予防局 健康増進部（産後・産業）事業への参画実態に関するアンケートを実施することとなりました。皆さんの**関心度**や「**ココがネックで参加しにくい！**」など率直なご意見をお聞かせください。皆さんと一緒に良い環境を作っていきたいと思っています。ご協力の程よろしく願いいたします！

アンケートはコチラから



URL : <https://forms.gle/biqbo6Wr6mCsf5sw5>

【アンケート回答期間】

令和7年12月1日(月) ～ 12月31日(水)

【お問い合わせ】

社会局長 河野 隆志

E-mail: kawano@shizuoka-pt.com



静岡県理学療法士連盟 NEWS

Vol.10
2025.12.1

令和7年10月25-26日 東海北陸 理学療法学術大会

連盟ブースの応援ならび政策提言担当者会議に出席して、東海北陸の皆様と今後の活動等、意見交換をしてきました。



令和7年 10月30日 「静岡県厚生問題対策連絡協議会」

『リハビリテーション専門職団体』として要望書を提出。静岡県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士会と連盟にて、静岡県政に要望を説明。

リハ職の処遇の改善やスクールトレーナー、障害者更生相談所へのリハ職配置、災害関係、幼保学校分野への介入など重要な要望を伝えました。

引き続き連盟は、リハビリ職の未来のために、働きやすい環境を整えるために動いていきます。



令和7年11月26日 リハビリテーションを考える議員連盟 総会

PT・OT・STの3団体の協会長が要望を強く伝え、多くの国会議員の先生方がリハ職の処遇改善について発言・提案してくれました。厚生省にも強く訴えてくれておりました。静岡県の『若林洋平』参議院議員も発言をしてくれました。

リハビリテーション職の未来が変わるように連盟は動き続けます。



静岡県理学療法士連盟 新規入会及び会員継続登録のお願い

年会費 ¥1000とし、当会の運営を行うこととなりました

右記のQRコードもしくはURLから申込みフォームへの登録をお願いします。

- ・既会員：会員継続の意志確認、会員情報の再登録
- ・新規会員：新規入会登録



<https://forms.gle/CCF4vXYvHGDmEcrJ7>

富士リハで
理学療法士
作業療法士
を
目指そう!



学校法人森島学園

厚生労働大臣指定 文部科学省職業実践専門課程認定校

理学療法学科

作業療法学科

↓詳しくはこちら

専門学校 **富士リハビリテーション大学校**



〒417-0061 静岡県富士市伝法 2527-1 TEL.0545-55-3888 FAX.0545-55-3889 URL.<https://www.morishima.ac.jp/fuji/>

賛助会員

理学療法学科 トータルケア鍼灸学科 スポーツ柔整・柔整健康学科 歯科衛生学科



オープンキャンパス毎月開催中! 詳しくはホームページをご参照ください

専門学校 **中央医療健康大学校**

参加申込↓



静岡市駿河区曲金 6 丁目 7-15

☎ 054-202-8700

✉ cmhc@suzuki.ac.jp



学校法人 鈴木学園

鈴木学園

検索

鈴木学園グループ: 中央歯科衛生士調理製菓専門学校・中央調理製菓専門学校静岡校・専門学校中央メカニック自動車大学校・中央動物総合専門学校



未来へまっすぐ

一人ひとりの身体の悩みに寄り添い、支えるスペシャリストに

理学療法学科 柔道整復学科

- ・ワンルームタイプの学生寮（男女）
- ・学生食堂：日替わり定食・季節メニュー
- ・沼津駅・伊東駅・菰山駅からの送迎バス
- ・早期にスタート！本気の国家試験対策
- ・レッドコード、治療台などの設備が充実

学校法人 原学園



静岡東都医療専門学校

SHIZUOKA TOHTO MEDICAL COLLEGE

〒410-2221 静岡県伊豆の国市南江間 1949 番地

TEL 055-947-5311 FAX 055-947-5313



理学療法士募集

募集人員

常勤
若干名スパインダイナミクス療法を基盤に、
学びながら即戦力へと成長できる
教育体制と、働き方を見直した“今”に合った職場環境

施設名	医療法人社団SEISEN 清泉クリニック整形外科
施設概要	整形外科クリニック（無床）
待遇	基本給225,500円～ 地域手当5,000円、資格手当15,000円 通勤手当別途支給 賞与年2回（2.5ヶ月/年）、昇給年1回 各種保険完備、退職金制度あり 経験者優遇、パート同時募集
休日	週休2日シフト制、日曜・祝日休診 年間休日115日（夏季休暇、年末年始、誕生日休暇あり）
勤務時間	8:30～17:30 時間外業務あり
応募方法	電話もしくは、当院ホームページよりご応募ください。
連絡先	〒411-0904 駿東郡清水町柿田191-1 清泉クリニック整形外科 静岡 Tel 055-981-1936 担当:新野(アラノ)

理学療法士募集

募集人員

若干名

総合力で「人」を支える…県内トップクラスのリハビリティを誇る訪問です！
訪問リハの経験不問。チーム担当制のため、各分野の専門知識を持った職員が的確な指導の下
みんなでスキルアップしていく会社です。ライフワークバランスを
重視した休日は思いっきりリフレッシュしてもらい、お子さんをお持ちの方々も
働きやすい職場を作っています。今年度ババ育休取得実績あり（連続3週間）

施設名	訪問看護ステーション椎路	交通	沼津市立病院より 徒歩10分
施設概要	PT6名・OT2名・ST1名 認定理学療法士（学校教育・地域）、 3学会呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士 PNFベーシック修了、住環境福祉コーディネーター、訪問精神看護研修修了	応募資格	卒後3年以上 が望ましい
待遇	(OT)給与275,000円～ ※弊社規定による		
勤務時間	8:30～17:30 休日 土日祝		
勤務地	(事務所)沼津市東椎路708-1 (訪問先)沼津市内	地域 東部	
応募方法	電話またはメールよりご応募下さい。		
連絡先	先ずはお気軽にご相談下さい。(担当:金元) E-mail info@houkan-shiji.com Tel 055-955-7467 Fax 055-955-7502		

理学療法士募集

募集人員

常勤2名

2025年2月に新しくオープンしたクリニックです。
外科的アプローチと内科的アプローチで運動療法、食事療法、薬物療法を行い、
多職種連携で患者様の健康をサポートします。

施設名	清水サルバス整形外科・糖尿病内分泌クリニック	交通	静鉄静岡清水線 桜橋駅より車4分
施設概要	無床 理学療法 物理療法		
待遇	基本給26万円～、通勤手当、資格手当、職務手当 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり		
勤務時間	8:30～18:00		
休日	週休2日制、年次有給、夏季休暇		
応募方法	履歴書を郵送してください		
連絡先	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-5-27-201 Tel 054-265-1515 Fax 054-265-1551 採用担当 松永 E-mail saiyo-junbi@kind.ocn.ne.jp		

理学療法士募集

募集人員

常勤1名
非常勤1名

当院は運動器の理学療法に重きを置き、スタッフを多く配置して
人の手による個々に合った治療に心がけております。産休、育休（男性も）も取りやすく
また自己研鑽を積みたい方は研修会参加などを奨励し定着率が高い職場です。

施設名

医療法人社団浜本整形外科医院

施設概要

無床、整形外科クリニック、通所リハビリ、訪問リハビリ
年収350万円から経験に応じて500万円
賞与年2回、昇給あり、退職金制度あり、研修参加補助
パート時給:平日1,700円～ 土曜日2,000円

待遇

木曜午後、土曜午後、日祝日、夏季休暇、年末年始

休日

8:30～18:30(8時間後は時間以上残業手当)

勤務時間

電話またはメールよりご応募下さい。

応募方法

〒420-0805 静岡市葵区城北40-5
人事 浜本 百合子 054-248-1705 E-mail:yhama7552@mti.biglobe.ne.jp

連絡先

現在、医師2名、理学療法士8名、柔道整復師3名、
看護師3名、放射線技師1名

交通

静鉄バス北安東
5丁目徒歩3分

求人募集

理学療法士募集

募集
人員

常勤1名

運動療法・徒手療法・足底板療法を主体としたリハビリを実施。
対象は術後や高齢者から学生スポーツ障がいまで多岐にわたります。医師のリハビリに
対する理解が深く、各々が掲げる医療を実践する場として、院外活動・副業も可能です。

施設名	財団法人 福祉医療推進事業団 あかりクリニック	交通
施設概要	整形外科クリニック	自動車通勤可
待遇	基本給:月給280,000円～330,000円 賞与:なし 昇給:年1回 各種保険完備、退職金共済加入 通勤手当あり、住宅手当あり、その他特別手当あり 学会・講習会費用支給あり	
勤務時間	午前:8時15分～12時15分 午後:14時15分～18時15分	
休日	週休2日制(木・日) 祝日・お盆・年末年始休暇あり	地域 西部
応募方法	電話またはFAXにてご連絡ください。 ※随時見学も可能です。	
連絡先	〒436-0005 静岡県掛川市上西郷528-1 電話:0537-23-0277 FAX:0537-23-0288 採用担当 小田(こた) E-mail mezase.saikouno.at@gmail.com	

理学療法士募集

募集
人員

常勤 若干名

地域の三次救急を担う急性期病院です。
研修会、各種資格取得や学会発表へ活動も活発です。幅広い疾患が経験できます。

施設名	浜松医療センター	
施設概要	606床	
待遇	基本給 206,400円～※経験年数による加算あり※諸手当あり(通勤手当、住宅手当、扶養手当その他) 賞与あり(令和5年度実績 月4.4ヶ月分)、昇給年1回、退職金制度あり	
休日	4週8休制(完全週休2日制に相当)、年末年始休暇、年次有給休暇(平年次20日)、 夏季厚生休暇(8日)、特別休暇(産前産後、結婚、看護・介護休暇その他)、育児・介護休業制度	
勤務時間	8:15～17:00	
応募方法	「採用試験志願書・自己紹介書」を郵送してください。 詳しくは当院ホームページをご覧ください。 https://www.hmedc.or.jp	
連絡先	〒432-8580 浜松市中央区富塚町328番地 公益財団法人浜松市医療公社 人事課 人事係 Tel: (053)451-2703 E-Mail: jinji@hmedc.or.jp	

求人広告に関するお問い合わせ

Eメールにてお問い合わせください

静岡県理学療法士会広報局 渡邊勉(わたなべ つとむ)
E-mail: tsutomu@shizuoka-pt.com
一般財団法人富士脳障害研究所附属病院

※ゆまにて213号の掲載原稿の
締め切りは2026年4月30日です。